

Superfund Gold

スーパーファンド・ゴールド・ジャパン



ケイマン籍 オープンエンド契約型 外国投資信託(円建て)

■ お申込みは

スーパーファンド証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第98号
加入協会 日本証券業協会
<http://www.superfund.co.jp>
e-mail: customer.jp@superfund.com

■ 管理・運用は

スーパーファンド・ジャパン・トレーディング(ケイマン)リミテッド

SUPERFUND
THE FUTURE OF INVESTING

お申込みの際は、必ず「目論見書」をご覧ください。

- 本資料は本ファンドの代行協会員により作成された販売用資料であり、金融商品取引法に基づく法定の開示資料ではありません。
- 本資料は信頼できる情報に基づき作成しておりますが、その内容の正確性、完全性等を保証するものではありません。また、本資料内で示された過去の実績等は、将来の市場環境や本ファンドの値動き等を示唆・保証するものではありません。■本ファンドは価格変動のある有価証券等に投資をしますので、本ファンドの1口当たりの純資産価額の変動により投資元本を割り込む恐れや、場合によっては投資金額全額を失う恐れがあります。また、ご負担いただく各種手数料等がございます。投資のご判断の際には、必ず目論見書等を十分にご確認の上、ご自身のご判断をお願いいたします。■本ファンドの発行する外国投資信託受益証券の取得は、その投資元本が保証されたものではなく、預金保険機構の保護対象ではありません。



Superfund Gold

将来への投資



「スーパーファンド・ゴールド・ファンドは、
21世紀の投資家にとって理想的なファンドです。」

クリスチャン・バハ
スーパーファンドの創業者 兼 オーナー

スーパーファンド・ゴールド— 安定性とパフォーマンスのユニークな組み合わせ

スーパーファンド・ゴールドは、世界で最も成功したマネージドフューチャーズ・ファンドの1つである「スーパーファンド」と、比較的安定的な資産として一般的に認識されている「金」を単一の投資商品に統合したファンドです。このユニークな組み合わせによって、従来のファンドから一線を画した魅力的な投資機会が提供されます。投資家は、スーパーファンドのトレーディング・システムによる長期間の優れた運用実績と、金の歴史的な長期の安定性を同時に享受する可能性を持ちます。

スーパーファンドの投資戦略

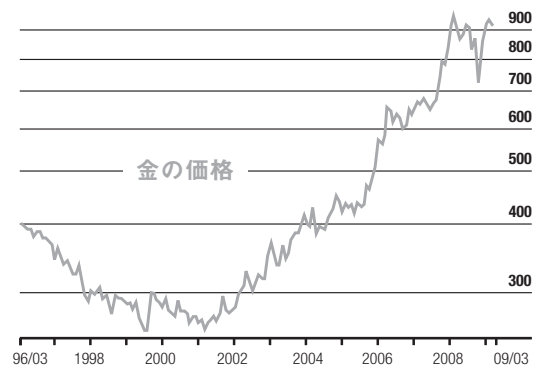
スーパーファンド戦略A (Superfund Q-AG : 申込み期間終了) は、投資家にとってマネージドフューチャーズ・ファンドの世界を経験するための理想的な序章と言えます。このファンドは1996年3月の運用開始以来、2009年3月までに+767%という総合リターン(年率約18.0%)を達成しています。スーパーファンドで採用している完全自動化トレーディング・システムは、世界中の100以上の金融先物市場と商品先物市場を投資対象としており、上げ相場と下げ相場の両方から利益を上げる可能性を持っています。



Superfund Q-AG (申込み期間終了): 対数目盛り
期間: 1996年3月~2009年3月: 出典: TeleTrader

金の価格

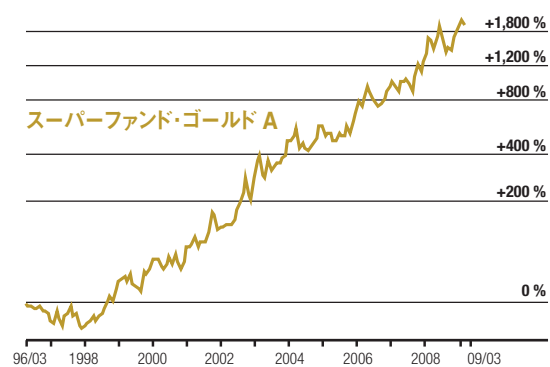
金は最も古い国際通貨の1つであり、経済的に不安定な時期に、信頼性の高い価値保全手段として長く利用されてきました。金は株式市場の下落、購買力の低下、通貨価値の変動、インフレーションに対する優れた防御手段となり、資産価値の保護に重要な役割を果たしてきました。今日、金は高収益を期待できる投資対象としての利用価値がますます高まっています。世界的に埋蔵量が限られた天然資源である金の価格は、長期的には大きく上昇する可能性を秘めています。



1オンス当たりの金の価格(米ドル建て、LME取引値): 対数目盛り
期間: 1996年3月~2009年3月: 出典: TeleTrader

スーパーファンド・ゴールド

スーパーファンド・ゴールドへの投資では、スーパーファンドのトレーディング・システムによる長期間の優れた運用実績と、金の潜在的な強いリターンを同時に享受できる可能性があります。ここに示すシミュレーションは、1996年3月から2009年3月の期間を対象に、スーパーファンド戦略A (Superfund Q-AG : 申込み期間終了) の運用実績と1オンス当たりの金価格(米ドル建て)に基づいて、スーパーファンド・ゴールドAのパフォーマンスを試算したものです。



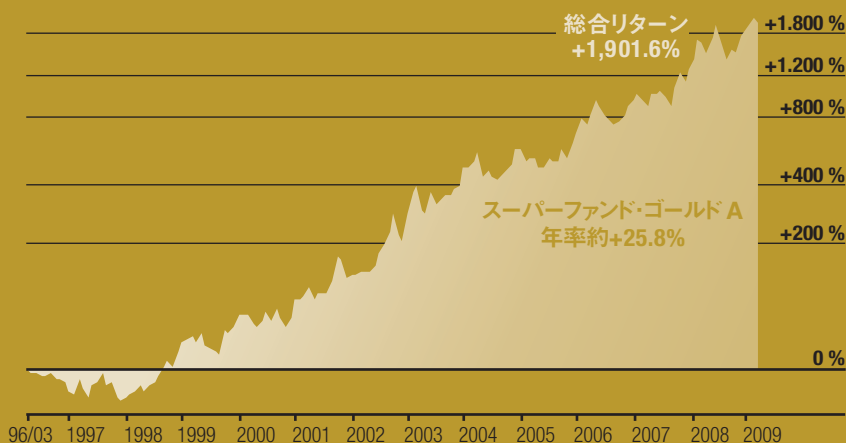
パフォーマンス試算: スーパーファンド・ゴールドA-米ドル建て(4ページの特記事項を参照)
対数目盛り: 期間: 1996年3月~2009年3月: 出典: TeleTrader

注記: ここに示した「スーパーファンド・ゴールド」は履歴データに基づく単なるパフォーマンス試算です。本資料の11ページ以降に記載する日本公募外国投資信託「スーパーファンド・ゴールド・ジャパン」とは異なることにご注意ください。



スーパーファンド・ゴールドの パフォーマンス試算

Superfund Gold



パフォーマンス試算：1996年3月から2009年3月の期間を対象に、スーパーファンド戦略A（Superfund Q-AG：申込み期間終了）の運用実績と1オンス当たりの金価格（米ドル建て）に基づいて、スーパーファンド・ゴールドAのパフォーマンスを試算したものの対数目盛り。

注記：ここに示した「スーパーファンド・ゴールドA」は履歴データに基づく単なるパフォーマンス試算です。本資料の11ページ以降に記載する日本公募外国投資信託「スーパーファンド・ゴールド・ジャパン」とは異なることにご注意ください。

投資家にとってのメリット

- ▶ 新しい発想の投資組み合わせ
金価格とマネージドフューチャーズ・ファンドの組み合わせ
- ▶ 長期的な収益機会の享受
スーパーファンドの実証済みのトレーディング・システムを利用
- ▶ 高度な分散化
100を超える広範な金融先物市場と商品先物市場が投資対象
- ▶ 不確実な時期の比較的安全な投資先
金への投資はインフレの進行や株式市場の下落に対する保護手段を提供可能
- ▶ 金価格の長期的な上昇の可能性
世界的に希少な資源に対して継続的な需要増加の見込み

スーパーファンド・ゴールドのパフォーマンス試算に関する特記事項：本資料に記載されたパフォーマンス数値はヒストリカル・データに基づくシミュレーション結果であり、実際のトレーディングの結果を表すものではありません。スーパーファンド・ゴールドA戦略のパフォーマンス試算値（3～4ページ）は、最初にSuperfund Q-AG（戦略A、申込み期間終了）の1996年3月以降の運用実績（ユーロ建て）に基づいて計算した値を、Superfund Q-AGの各評価日（各月の最終銀行営業日）におけるロンドン金属取引所（LME）での金の1オンス当たり取引価格（米ドル建て）に基づいて再計算したものです。ただし、スーパーファンド・ゴールドA戦略は当該期間にはまだ存在していませんでした。また、このパフォーマンス試算は米ドル建ての金価格に基づいており、当該期間における米ドルとユーロの為替レートの変動は考慮されていないことに十分注意してください。このパフォーマンス試算は、当該計算期間にスーパーファンド・ゴールドA戦略が存在したと仮定した場合のパフォーマンスを示唆することを唯一の目的として提供しています。ここで示唆した値と同様の運用成果が将来達成されることを表明するものではありません。過去の運用実績およびパフォーマンス試算は将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。パフォーマンス試算には、スーパーファンド・ゴールドA戦略で支払われる一定の報酬・手数料による調整が適用されていますが、実際の報酬・手数料を考慮した場合のパフォーマンス試算は異なる結果になる可能性があります。シミュレーションによるパフォーマンス試算には数多くの制限があります。したがって、本資料で示唆した結果と同様の損益が実際の投資によって達成されるという保証はありません。

金価格の長期的な上昇の可能性



図1 1オンス当たりの金の価格（米ドル建て；LME取引値）

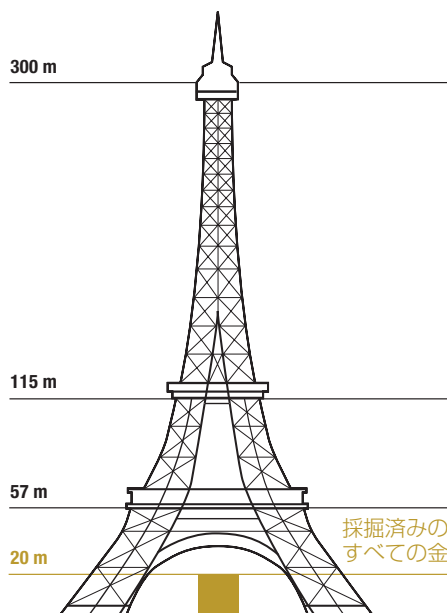


図2 インフレ率（2009年3月のCPI）で調整した金価格

出典：Bloomberg；期間：1975年1月～2009年3月

金価格のパフォーマンス

近年の金価格の急上昇（図1）を見ると、金価格は高すぎる水準になったと思われるかもしれませんが、購買力の観点から見た金の価値、つまりインフレ調整後の金価格（図2）は、それとは異なる絵柄になります。現在の米ドルの価値で計算した金価格の史上最高値は、1980年に既に1オンス当たり1,700米ドルを超えています。世界金協議会（World Gold Council）の最近の計算によれば、金の実質価格が1980年の史上最高値に達するためには、現在の価格から2倍以上の上昇が必要となります。したがって、現在の金価格が高過ぎる水準にあるという議論は妥当ではありません。実際、欧州、米国、日本の通貨に対する信頼の低下、および金に対する需要の増加を要因として金価格が大きく上昇すると予想する専門家もいます。スーパーファンド・ゴールドは、金価格の上昇からも利益を得る可能性を投資家に提供します。



金の希少性を示す端的な例

世界中でこれまでに採掘されたすべての金（約16万トン）を寄せ集めても、各辺が僅か20メートルの立方体にしかありません。

出典：United States Geological Survey, 2008



Superfund Gold

金 — 究極的な通貨

最も古い形式の投資

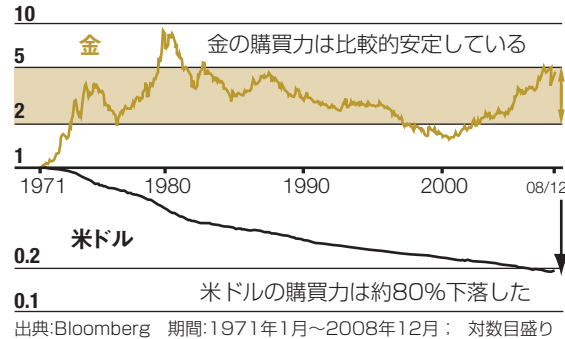
金は6,000年以上前の太古から珍重され、近年においては、通貨の切り下げ、戦乱、株式市場の下落、インフレなどの金融リスクからの比較的 안전한避難先として利用されてきました。中央銀行とプロの投資家も財務上の安全性のために金の備蓄を行ってきました。政府・中央銀行の介入を受けにくい金は真に究極的な独立した通貨と考えることができます。

「金は依然として世界における究極的な支払い手段です。極端に言えば、紙幣を使用できないことがあっても、金は常に受け入れられます。」
米国FRB元議長 アラン・グリーンズパン
1999年、米国議会での発言



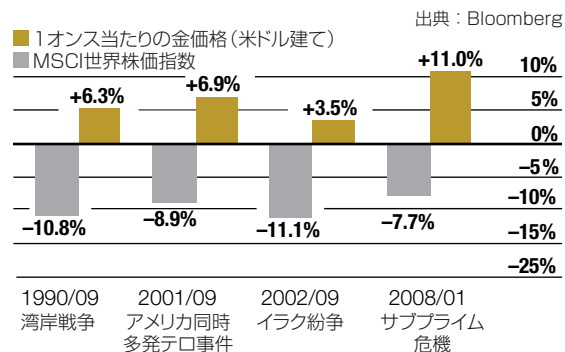
インフレに対する防御策

各国の「紙幣」通貨と異なり、金は公的保証のない唯一の通貨です。したがって、金は購買力の低下やインフレに対する保険として機能し、資産価値の保全に役立ちます。右側のグラフは金と米ドルの購買力を比較したものです。金の購買力は長期間にわたり比較的安定していますが、米ドルの購買力はインフレの進行と紙幣通貨の流通のために、過去37年間で約80%下落しています（右図参照）。米国の増大する公的債務と貿易赤字の拡大によって米ドルの実質価値は継続的に低下しており、ハイパーインフレ発生の恐れすらあります。



金：金融危機時の比較的 안전한投資先

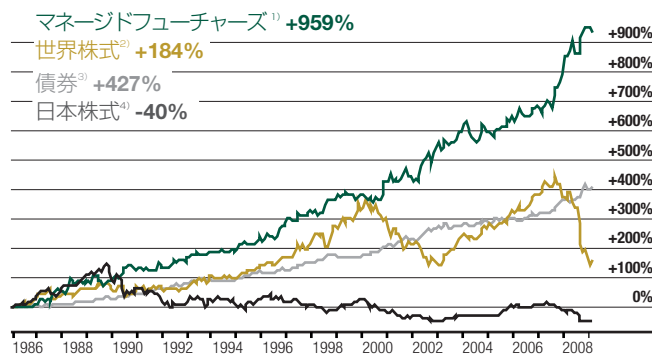
金は投資ポートフォリオの分散化を高める効果があります。金は株式や債券などの従来型資産クラスとの相関が非常に小さいため、ポートフォリオ全体のリスクを低減することができます。戦乱やテロ攻撃などの政情不安、あるいは株式市場のクラッシュなどの金融不安を原因とする不確実な時期には、金は右図に示すように良好なパフォーマンスを上げています。



マネージドフューチャーズ戦略の利点

スーパーファンドが採用するマネージドフューチャーズ戦略は長期間にわたって非常に高いパフォーマンスが得られる可能性のある資産クラスの1つです。マネージドフューチャーズ戦略の主要な利点は、金融市場と商品市場を対象に幅広く分散投資すること、売り買い両方のポジションを駆使すること、株式や債券のような従来の資産クラス、さらにはヘッジファンド等との相関が非常に低いことです。マネージドフューチャーズ戦略は、厳格なルールの下に設立されている取引所で取引される流動性の高い標準先物契約を投資対象とします。特定のベンチマーク（株価指数など）を基準としてパフォーマンスが相対的に評価される従来の資産クラスとは異なり、マネージドフューチャーズは上げ相場でも下げ相場でも常に平均を超える絶対リターンを達成することを目指します。

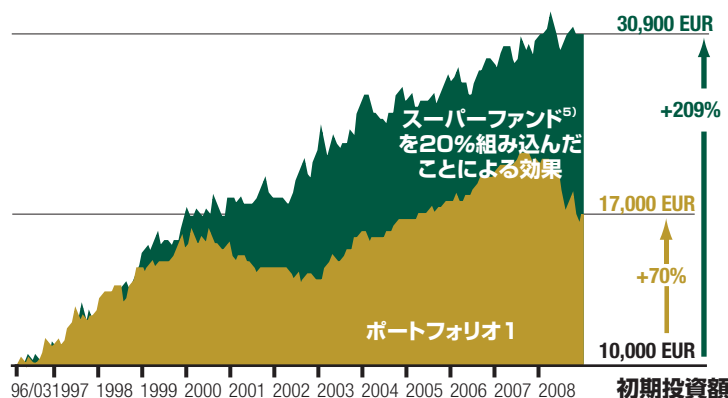
まだ、その利点が十分に広く認識されていない
マネージドフューチャーズ



比較的低いリスクで
比較的高いリターンを実現

1) CASAM CISDM CTA Equal Weighted (Index) ; 2) MSCI世界株価指数 ;
3) JPMorgan米国債指数 ; 4) 日経225
期間 : 1986年3月~2009年3月 ; 出典 : TeleTrader

画期的なポートフォリオ投資理論で1990年にノーベル経済学賞を受賞した米国の著名な経済学者 ハリー・マーコウィッツ氏が提言した重要な原理の1つは「すべての卵を一つの籠に入れないこと」です。ハリー・マーコウィッツ氏は、複数の異なる資産クラスからなる分散化されたポートフォリオの構築によって、リスクを低減しながら比較的高いリターンを達成できることを実証しました。



ポートフォリオの最適化 :
ポートフォリオの20%をマネージドフューチャーズへの投資に割り当てると、投資家はポートフォリオ全体のリスクを低減しながら、長期的なリターンを高めることを期待できます。

1996年3月~2009年3月	株式 ²⁾	債券 ³⁾	スーパーファンド ⁵⁾	価額の増加率	最大下落率
■ ポートフォリオ 1	50%	50%	0%	+70%	-22.5%
■ ポートフォリオ 2	40%	40%	20%	+209%	-11.0%

5) Superfund Q-AG (申込み期間終了ファンド)
ポートフォリオ 1 : 株式50%、債券50%からなる仮想ポートフォリオの過去の運用成果
ポートフォリオ 2 : 株式50%、債券40%、Superfund Q-AG 20%からなる仮想ポートフォリオの過去の運用成果
これらの仮想ポートフォリオの過去の運用成果及び仮想ポートフォリオに含まれる各資産の過去の運用成果は、それらの将来の運用成果を示唆または予想するものではありません。
出典 : TeleTrader



Superfund Gold



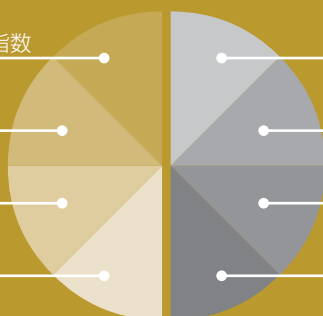
金融先物

株価指数

通貨

債券

金利



商品先物

金属

エネルギー

穀物

農産物



上記は単なる概念図です。実際の分散投資比率は、市場の状況に応じて継続的に調整されます。

「市場の行方は市場に聞くこと。
明確な収益機会が認識された場合のみ投資を行うこと。
リスクを分散させて損失額を即座に制限すること。
これらが収益を得るための基本原則です。」

クリスチャン・バハ
スーパーファンドの創立者 兼 オーナー

スーパーファンドの投資戦略

スーパーファンドのすべてのファンドは、自社開発の完全自動化トレーディング・システムによって運用されています。このトレーディング・システムでは、世界中の100以上の先物市場を取引対象としています。スーパーファンドの実証済みのトレーディング戦略は、下記の4つの基本方針によって支えられています。これらの方針が相互に連携して、スーパーファンドの強力なトラック・レコードを形成してきました。



分散投資



スーパーファンドの各ファンドは、世界中の数多くの金融センターで先物契約を取引しています。株価指数、債券、通貨などの金融先物のほかに、天然ガス、金、銀、コーン、ココア、綿花などの商品先物も取引対象となっています。この分散投資により、相互に独立した動きを示す数多くの異なる市場にリスクが分散されるほか、利益を上げる可能性のある取引機会の数が増えます。

テクニカル分析



スーパーファンドのトレーディング・システムでは、多岐に渡るテクニカル指標とヒストリカル・データに基づき、高い収益チャンスをもたらす可能性のある市場の動きを見つけ出します。これらの市場の動きに基づき、トレーディング・システムが自動的に売買注文を発行します。スーパーファンドの技術専門家によって設計/プログラミングされた完全自動化トレーディング・システムは、取引に関する意思決定から人間の感情的判断を排除します。

トレンド・フォロー戦略



スーパーファンドのトレーディング・システムは「トレンド追従（順張り）原則」に基づいています。トレンドの周期は数日間から数ヶ月間と様々ですが、明確なトレンドが続く限り、価格の上昇パターンまたは下降パターンに追従して収益機会を狙います。収益に繋がるトレンドを見つけ出し、上昇トレンドまたは下降トレンドに追従して利益を上げること（トレンドを味方に付けること）が重要なのです。そうすればトレンドが続く限り、利益は増加してゆきます。

リスク管理



スーパーファンドの投資戦略で最も重要な要素となるのは、一貫したリスク管理です。リスクを制御するために、個々の取引ポジションの金額を厳密に制限し、損失を早期に切り捨てます。各取引の初期リスクの上限は、ファンドの総資産の一定割合に事前に設定されます。リスクの総量が毎日継続的に監視され、大きな損失は厳密なロス・カット方式によって自動的に抑えられます。



Superfund Gold

スーパーファンドのグローバル展開

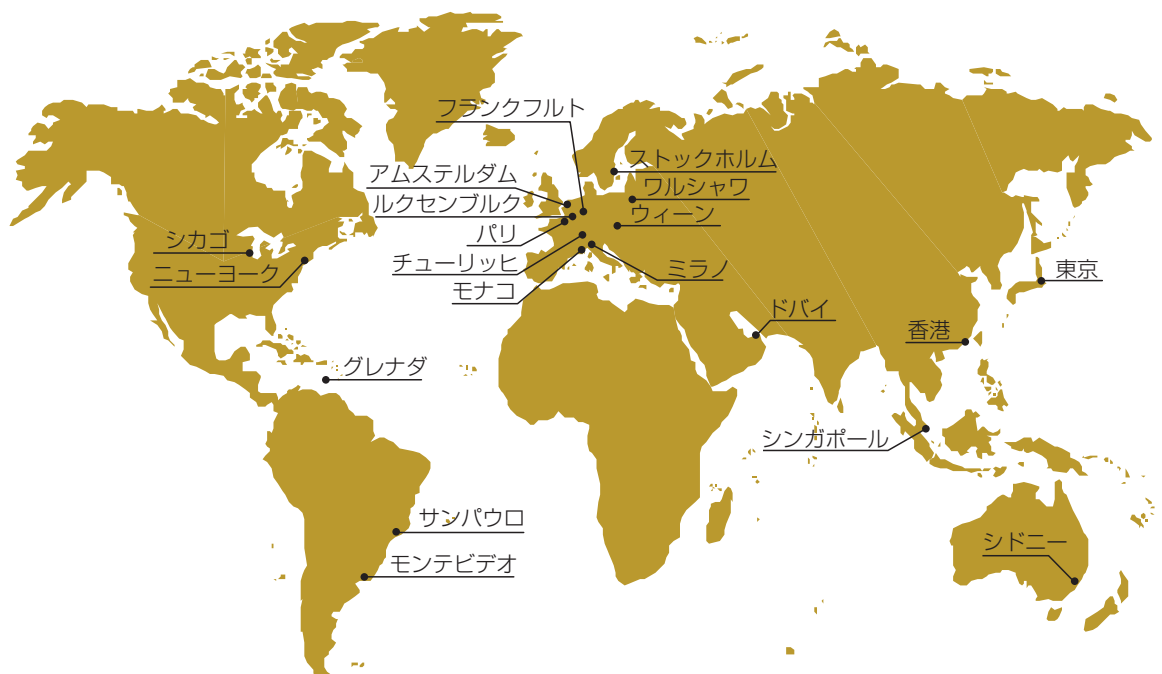
クリスチャン・バハがオーストリアのウィーンに1995年に創立したスーパーファンドは、世界大手のマネージドフューチャーズ運用会社の1つに成長しました。1996年に個人投資家向けに最初のマネージドフューチャーズ・ファンドを販売して以来、スーパーファンドは機関投資家と同等の高いクオリティを持つ資産クラスを個人投資家が享受できるように、常に先進的なファンドを提供してきました。スーパーファンドの各ファンドが世界的な成功を収めるに伴い、世界の各地に新しいオフィスが開設され、国際的な展開が広範に推進されてきました。今日、スーパーファンドは世界19ヶ国にオフィスを設置しています（2009年4月末）。

概要

- ▶ 1995年に創立
- ▶ 約13年超の実証済みのトラック・レコード
- ▶ 貯蓄プラン型マネージドフューチャーズ・ファンドを提供した最初の運用会社
- ▶ 監査法人：KPMG、Ernst & Young、Deloitte & Touche

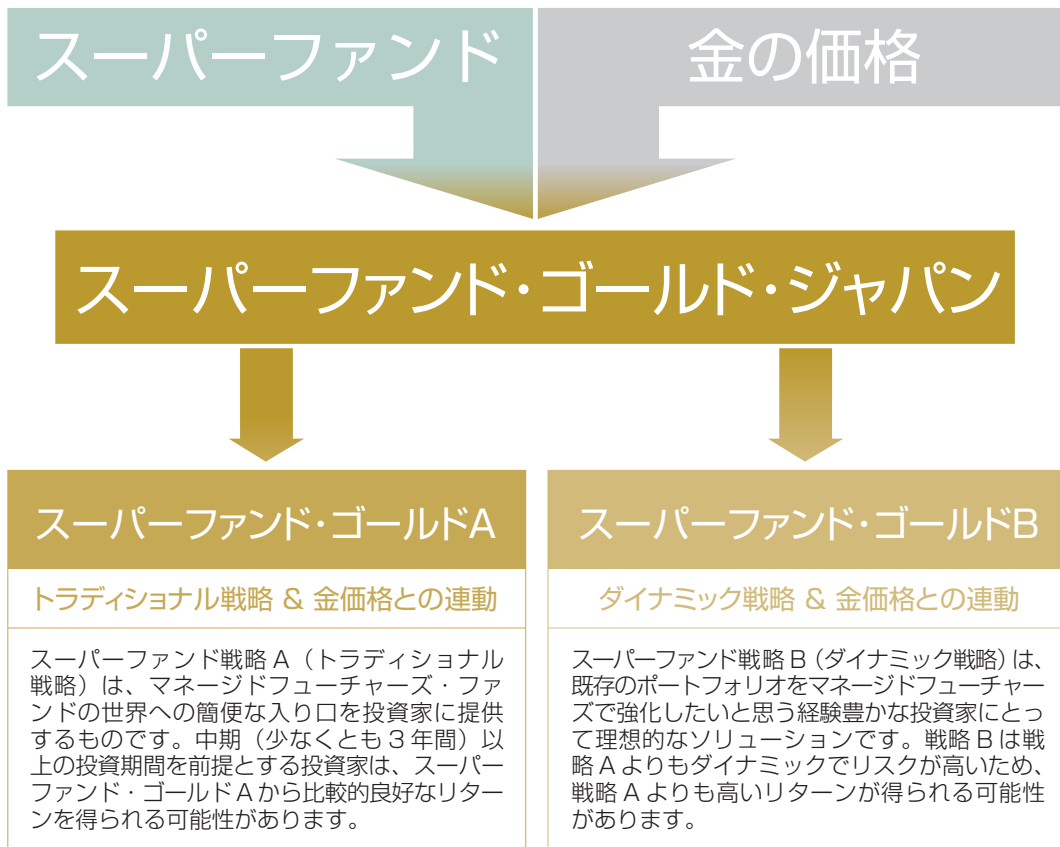
世界各地での認可

- ▶ スーパーファンドのファンドは、オーストリア、フランス、ドイツ、イタリア、日本、米国、ルクセンブルグ、オランダ、ポーランド、スウェーデン、スイス、デンマーク、フィンランド、およびオーストラリアで販売認可済み。



スーパーファンド・ゴールド・ジャパン

スーパーファンド・ゴールド・ジャパンは、世界で最も成功したマネージドフューチャーズ・ファンドの1つである「スーパーファンド」と、比較的安定的な資産として一般的に認識されている「金」を単一の投資商品に統合したユニークな公募外国投資信託です。投資家は、スーパーファンドのトレーディング・システムによる長期間の優れた運用実績と、金の歴史的な長期の安定性を同時に享受する可能性を持ちます。



「金こそが唯一の真の通貨です。
金は過去および将来において
世界中の富を守る手段です。」

クリスチャン・バハ
スーパーファンドの創立者 兼 オーナー



スーパーファンド・ゴールド・日本の運用管理構造

Superfund Gold

スーパーファンド・ゴールド・日本（フィーダーファンド）の2つのサブファンドAおよびBの資産は管理会社により運用され、管理会社は各サブファンドの資産のすべてをスーパーファンド・ゴールドSPC（以下「マスターファンド」と表記）のシェア（株式）に投資します。

マスターファンドの2つのサブファンドAおよびBは、それぞれの資産の一定割合（サブファンドAは約50%、Bは約75%）をSuperfund Gold Masterfund（以下「アンダーライング・マスターファンド」と表記）のシェアに投資し、残りの資産を債券とキャッシュに投資するほか、サブファンドの価額を金価格に連動させるべく金の先物と現物に投資します。

マスターファンドおよびアンダーライング・マスターファンドは、ケイマン諸島で分離型ポートフォリオを運用する免税会社として登録された法人であり、フィーダーファンド（2つのサブファンド）のための投資活動を行います。

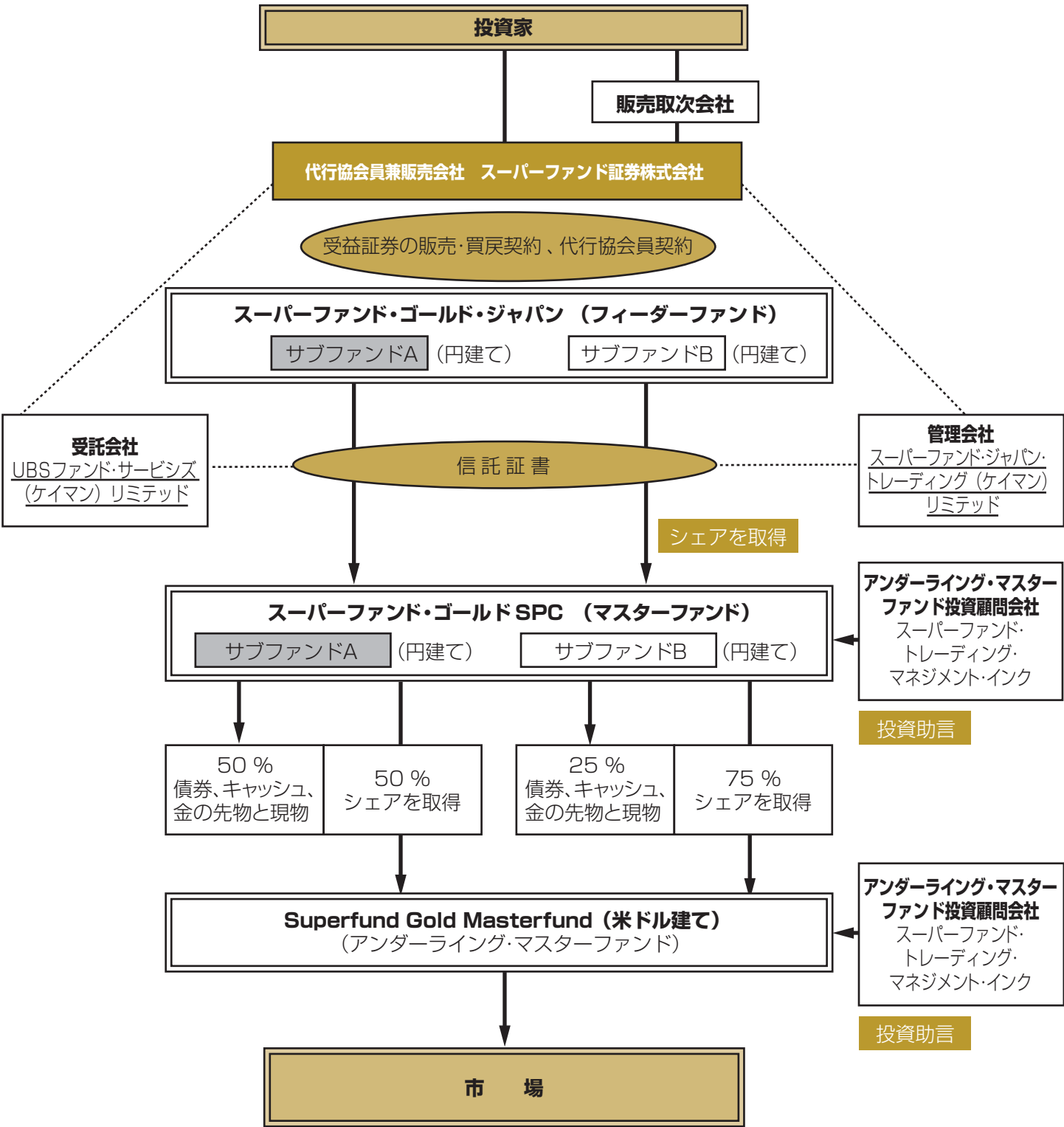
アンダーライング・マスターファンドは、スーパーファンド・トレーディング・マネジメント・インク（以下「アンダーライング・マスターファンド投資顧問会社」と表記）の投資助言に基づき、アンダーライング・マスターファンド投資顧問会社が選定・管理する自動化トレーディング・システムを使用してすべての投資活動を行います。

日本における受益証券の取扱い等は、スーパーファンド証券株式会社（以下「販売会社」と表記）が行います。販売会社は、必要に応じて販売取次会社を選定することができます。スーパーファンド証券株式会社は、管理会社によって代行協会員に選任されています。（以下かかる立場としての同社を「代行協会員」と表記）

（スーパーファンド・ゴールド・日本の構造と関係法人については、次ページの図を参照してください。）

スーパーファンド・ゴールド・ジャパンの組成構図

スーパーファンド・ゴールド・ジャパンの構造と関係法人



スーパーファンド・ゴールド・ジャパンの概要

スーパーファンド・ゴールド・ジャパンへの投資に伴うリスク

本ファンドは価格変動性を伴う金融商品です。金融先物価格と商品先物価格、金の価格、金利、為替相場等の市況の変動、ならびに取引の相手方の信用状況の変化等を要因として本ファンドの純資産価額が投資元本を下回り、損失が生ずる可能性があります。各種リスクの詳細は目論見書をご覧ください。

とりわけ、本ファンド（実質的にはアンダーライニング・マスターファンドおよびマスターファンド）の純資産価額は、スーパーファンドの投資戦略による取引成果のほかに、金の米ドル建て価格の動きによって直接的な影響を受けます。つまり、フルヘッジを前提として他の条件が不変である場合（ここでは単純化のために費用を考慮しません）、金の米ドル建て価格が例えば5%上昇（下落）すると、米ドル建てのアンダーライニング・マスターファンドの純資産価額が5%増加（減少）することになります。それに伴い、マスターファンドおよび本ファンドのサブファンド（円建て）の純資産価額も変動します。

目論見書に記載の一般的な取引制限により、アンダーライニング・マスターファンドの資産を金価格に対してフルヘッジできない場合は、目的のフルヘッジに可能な限り近い状態になるように、金のヘッジ・ポジションが取られます。そのような取引プロセスにおいて、スーパーファンドの一般的な投資戦略に必要な資産は常に最重視され、それらの資産のポジションが阻害されることはありません。したがって、アンダーライニング・マスターファンドの投資資産の全体が金価格に対して常にフルヘッジされるという保証はありません。

金の価格は短期間に大きく変動する場合があるため、本ファンドは他の投資商品よりも変動性が大きくなる可能性があります。金の価格は、下記に示す数多くの制御不可能な要因（これらに限定されません）によって影響を受けます。

- ▶ 世界各国における予測不可能な金融政策および経済状況や政治情勢
- ▶ 将来のインフレ率、および世界の株式市場、金融市場、不動産市場の動きに関する投資家の予想
- ▶ 世界における金の供給と需要動向 — 金の供給は、金の生産者による産出量と先渡し売買高、中央銀行による売買、貴金属の実需、再利用貴金属の供給、投機的需要と産業向け需要など、数多くの要因によって影響を受けます。

- ▶ 世界の金の供給量のうち、政府機関や中央銀行などの大口保有者によって所有される割合 — たとえば、ロシアや他の大口保有者が金備蓄の一部を売却することを決定すると、供給が増加するため、金価格は一般的に下落します。
- ▶ 金利と為替レート（特に、米ドルの強さと信頼性）、およびヘッジファンドや商品ファンドなどの投機筋の投資・取引活動
- ▶ 主要な金生産者による採掘活動と埋蔵場所 — 主要な金生産者に影響を与える経済状況や政治情勢などの要因によって、金の価格が大きく変動する可能性があります。
- ▶ 金の採掘や生産にかかる人件費やその他の諸費用；金の採掘、生産、販売に関する法律の変更等

金の価格に直接的な影響を与えるリスク要因やその他の潜在的要因のために、金の先物価格や現物価格が変動すると、本ファンド（実質的にはアンダーライニング・マスターファンドおよびマスターファンド）の純資産価額が直接的な影響を受けることとなります。

運用報告および情報開示

スーパーファンド・ゴールド・ジャパンの各シリーズの純資産価額は、受託会社によって毎月計算され、代行協会員によって日本証券業協会に報告され、受益権者に開示されます。なお、純資産価額は、申込み手数料を除くすべての間接費用（管理報酬や成功報酬などの各種報酬）を差し引いた後の資産評価額に基づいて計算されます。

受託会社は、受益証券の純資産価額を明記した月次の計算書及びファンドの年次の運用報告書を販売会社に対して提出します。監査済財務諸表を含むファンドの年次報告書、及び未監査の財務諸表を含む半期報告書は、金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム（EDINET）で随時開示されます。

販売会社及び販売取次会社は、法令に従って、取引残高報告書及び年次運用報告書を受益権者に交付します。

スーパーファンド・ゴールド・ジャパン お申込みメモ

ファンドの名称：

スーパーファンド・ゴールド・ジャパン

形態：

ケイマン籍 オープンエンド契約型 外国投資信託（円建て）の無記名式無額面受益証券

受益証券の発行日：

各申込み期間の終期が属する月の翌月の最初のファンド営業日（ファンド営業日は、土曜日、日曜日以外の東京、ニューヨーク及びケイマン諸島における通常の銀行営業日）にシリーズ発行

受益証券の発行価格：

サブファンド	クラス	発行価格
スーパーファンド・ゴールドA	円建てクラス	1口100円
スーパーファンド・ゴールドB	円建てクラス	1口100円

(注) 各シリーズの受益証券は、上記と同じ発行価格で発行されます。

申込み単位：

サブファンド	クラス	申込み単位
スーパーファンド・ゴールドA	円建てクラス	5,000口 (500,000円) 以上 100口 (10,000円) 単位
スーパーファンド・ゴールドB	円建てクラス	10,000口 (1,000,000円) 以上 100口 (10,000円) 単位

(注) 販売会社は、管理会社と協議の上、上記の申込み単位の一部又は全部を変更することがあります。

申込み期間：

- (1) 第1シリーズ
2009年 6月26日～2009年 7月27日
- (2) 第2シリーズ
2009年 7月28日～2009年 9月24日
- (3) 第3シリーズ
2009年 9月25日～2009年11月20日
- (4) 第4シリーズ
2009年11月21日～2010年 1月25日
- (5) 第5シリーズ
2010年 1月26日～2010年 3月25日
- (6) 第6シリーズ
2010年 3月26日～2010年 5月24日
- (7) 第7シリーズ
2010年 5月25日～2010年 6月24日

以降、継続募集予定

(注) 管理会社と受託会社の協議・裁量により、受託会社は各シリーズを第1シリーズ(2009年8月3日発行分)に統合する場合があります。

▶ 払込期日：

各申込み期間の終期が属する月の評価日（各暦月の最後のファンド営業日）の3ファンド営業日前の日

▶ 申込み手数料：

各シリーズの購入申込み金額に上限5.25%（税込み）の申込み手数料率を乗じた額（申込み手数料率は販売会社または販売取次会社が上限の範囲内で決定します。）

▶ 換金性：

受益証券の発行後、評価日（各暦月の最後のファンド営業日）を基準として、ファンドによる買い戻しが可能（購入後、1年以内の買い戻しについては、買い戻し価格の2%の買い戻し手数料が課せられる場合があります。）

スーパーファンド・ゴールド・ジャパン（フィーダーファンド）における手数料¹⁾

▶ 管理報酬：

純資産価額の年率0.1%

▶ 代行協会員報酬：

純資産価額の年率0.5%

▶ 受託会社報酬：

純資産価額の年率0.08%（上限）；所定の最低固定報酬あり

マスターファンドとアンダーライニング・マスターファンドにおける手数料¹⁾

▶ 管理報酬：

純資産総額の年率4.2%

▶ 成功報酬：

純資産価額の増加額のうち、サブファンドAは25%、サブファンドBは30%（ただし、ハイウォーターマーク方式を適用）

▶ 販売報酬：

日本において販売された受益証券の純資産価額の年率1.8%

▶ 事務管理報酬：

純資産価額の年率0.18%（上限）

注記：純資産価額は、申込み手数料を除くすべての間接費用（上記の管理報酬や成功報酬などの各種報酬）を差し引いた後の資産評価額に基づいて計算されます。

関係法人

▶ 管理会社：

スーパーファンド・ジャパン・トレーディング(ケイマン)リミテッド

▶ 受託会社：

UBSファンド・サービスズ(ケイマン)リミテッド

▶ 代行協会員：

スーパーファンド証券株式会社

▶ 目論見書の配布場所：

販売会社及び販売取次会社

(注) 上記は商品の概要であるため、詳細については目論見書を参照してください。

1) 手数料等の合計額については、種類ごとの手数料等の合計額及びその上限額並びにこれらの計算方法の概要については、種類ごとの手数料等のうちに当該種類の手数料等の金額及び上限額並びにこれらの計算方法を記載できないものがあるほか、多種多様なもの（目論見書ご参照）があるため、記載することができません。



スーパーファンド・インベストメントセンター(ウィーン)

SINCE



1996

■ 販売会社の概要

商号等	スーパーファンド証券株式会社
金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第98号
本店所在地	〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー10階
加入協会	日本証券業協会
資本金	275百万円（2009年3月31日現在）
主な事業	金融商品取引業
設立年月	2005年11月1日
連絡先	Tel. 03-3508-6700（本社代表） Tel. 03-3508-6718（営業部） e-mail customer.jp@superfund.com 又は弊社所属の金融商品仲介業者にご連絡ください。

免責事項

本資料は情報提供を唯一の目的として代行協会員が作成した販売用資料であり、スーパーファンド・ゴールド・ジャパン（以下「本ファンド」と表記）への投資を勧誘するものではありません。本ファンドの勧誘および販売にあたっては、金融商品取引法に基づく法定の開示資料（目論見書等）を投資家の皆様に交付いたします。それらの開示資料を注意深く読み、本ファンドへの投資に伴うリスクや必要な費用・手数料を正しく理解された上で、ご自身の判断に従って投資を行ってください。

本資料に記載されたスーパーファンドの過去の運用実績は将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。本ファンドの将来のパフォーマンスは予想できず、スーパーファンドのトレーディング戦略および金価格が将来にわたり良好なパフォーマンスを示すという保証はありません。本ファンドへの投資には先物契約に固有の比較的大きなリスクに加えて金価格の変動リスクが伴うため、投資元本が大きく毀損する可能性があります。市場価格の通常の変動を要因として、かなりの程度のドロウダウン（ファンド価額の下落）が恒常的に発生する可能性があります。最悪の場合、投資元本の全額を失う可能性もあります。本ファンドの報酬・手数料体系は、本資料に記載された申込み期間が終了したファンド（Superfund Q-AG）の報酬・手数料体系とは異なります。そのため、本ファンドの将来のパフォーマンスは申込み期間が終了したファンドのパフォーマンスとは異なることとなります。